

## 【予報の概要】

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
普通期水稻	紋枯病 トビイロウンカ	並 やや少	やや多 並
大豆	ハスモンヨトウ（防除情報第10号） 吸実性カメムシ類	並 やや少	やや多 並
いちご （育苗床）	うどんこ病 炭疽病（ <i>G.cingulata</i> ） ハダニ類	並 並 並	並 並 やや多
アスパラガス	アザミウマ類	やや少 （前年比）	やや少 （前年比）
野菜類・花き類 共通	ハスモンヨトウ（防除情報第10号）	並	やや多
かんきつ	青かび病、緑かび病 ミカンハダニ	- 並	並 並
果樹共通	カメムシ類（注意報第3号継続）	多	多
茶	炭疽病 カンザワハダニ チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ クワシロカイガラムシ	並 並 並 やや多 並 やや多 並	やや多 並 並 やや多 並 やや多 並

【発生予報】 本文の（ ）内は平年値

普通期水稻

## 1. 紋枯病

## (1) 予報内容

発生程度 やや多

## (2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査（111筆）の結果、発病株率は2.5%（4.7%）、発生圃場率は61.3%（43.1%）であった。

イ 9月3半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、発病株率は79.0%（23.9%）であった。

ウ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり本病の発生に好適である。

## (3) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤散布は株元に薬剤が十分付着するよう丁寧に行う。

イ 薬剤散布にあたっては、農薬使用基準を遵守し、圃場周辺への飛散がないよう十分注意する。

## 2. トビイロウンカ

## (1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(111筆)の結果、1株当たり虫数は0.01頭(0.30頭)、発生圃場率は16.2%(31.6%)であった。

イ 9月3半旬の県予察圃場(諫早市、無防除)調査の結果、1株当たり虫数は0.28頭(1.3頭)であった。

ウ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 圃場の見回りを徹底し、9月中旬に株当たり成虫・老齢幼虫を5頭以上認めたら早急に防除する。

イ 本虫は株元に寄生しているので薬剤が株元に十分かかるよう丁寧に散布する。

ウ 収穫時期が近づいているので、農薬使用基準を遵守し、圃場周辺の飛散がないよう十分注意する

大豆

1. ハスモンヨトウ

平成20年9月17日付け、**病害虫発生予察防除情報第10号**による。

2. 吸実性カメムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は0.5%(0.6%)、株当たり虫数は0.0頭(0.0頭)であった。発生圃場率は6.7%(15.5%)であった。

イ 9月3半旬の県予察圃場(諫早市、無防除)調査の結果、寄生株率は6.0%(1.0%)、株当たり虫数は0.0頭(0.0頭)であった。

ウ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

稚莢期から莢肥大期にかけて、薬剤防除を行う。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(33筆)の結果、発病株率0.2%(0.0%)、発生圃場率3.0%(1.2%)であった。

2. 炭疽病(*G.cingulata*)

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(33筆)の結果、発病株率0.5%(0.4%)、発生圃場率12.1%(9.3%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 発病した株および発病の恐れのある株は速やかに処分し、本圃へ持ち込まない。

イ 本圃で発病した場合は速やかに圃場外へ持ち出す。除去した発病株や茎葉は、圃場内やその周辺に放置しない。

ウ 特に台風の前、後、降雨などにより発生の恐れがあるときは、薬剤散布を徹底する。

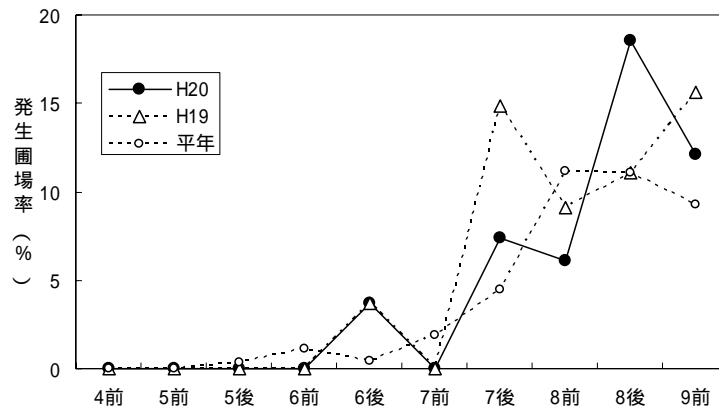


図 いちご炭疽病(*G.cingulata*)発生圃場率の推移  
平年:H10~19の平年値(最大・小除く)

### 3. ハダニ類

#### (1) 予報内容

発生程度 やや多

#### (2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(33筆)の結果、寄生株率は2.6%(2.5%)、発生圃場率は24.2%(15.1%)であった。

イ 向こう1カ月の気温は平年より高い見込みであり本虫の発生に好適である。

#### (3) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤散布は散布むらがおこらないように、葉裏まで付着するように十分量をていねいに散布する。

イ 薬剤感受性が低下しやすいので、同一薬剤は連用しない。

ウ 本圃での天敵放飼を予定している場合は、薬剤によっては長期間影響を与えるものがあるので、使用時期に注意する。

## アスパラガス

### 1. アザミウマ類

#### (1) 予報内容

発生程度 やや少(前年比)

#### (2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(9筆)の結果、払い落とし虫数(10.5cm×22.5cmの白色板に5回×10カ所)は3.6頭(前年22.6頭)、発生圃場率は88.9%(前年44.4%)であった。

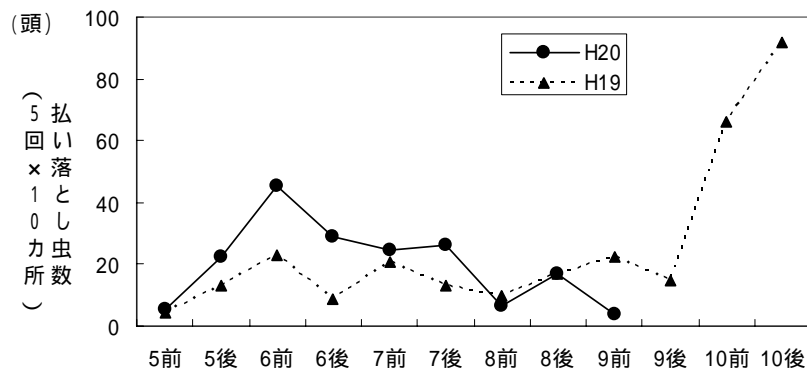


図 アスパラガス アザミウマ類 払い落とし虫数の推移  
(巡回調査)

## 野菜類・花き類共通

### 1. ハスモンヨトウ

平成20年9月17日付け**病害虫発生予察防除情報第10号**による。

## かんきつ

### 1. 青かび病、緑かび病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

ア 向こう1か月の降水量は平年並か多く、気温は高い見込みであり本病の発生に好適である。

イ 9月上旬の巡回調査(39筆)の結果、発生を確認していない。

### 2. ミカンハダニ

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(39筆)の結果、寄生葉率は5.6%(11.7%)、発生圃場率は61.5%(55.4%)だった。

## 果樹共通

### 1. カメムシ類

平成20年9月12日付け**病害虫発生予察注意報第3号**による。

## 茶

### 1. 炭疽病

#### (1) 予報内容

発生程度 やや多

#### (2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、1㎡あたり発病葉数は10.4枚(11.1枚)、発生圃場率は70.0%(60.2%)であった。

イ 向こう1か月の降水量は平年並か多い見込みであり、本病の発生に好適である。

#### (3) 防除上注意すべき事項

薬剤耐性菌が発生しやすいので、同一の薬剤を連用しない。

### 2. カンザワハダニ

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、寄生葉率0.1%(0.8%)、発生圃場率5.0%(16.7%)であった。

### 3. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、たたき落とし虫数(A4版トレイに5回×4カ所)は14.5頭(9.2頭)、発生圃場率は57.9%(59.7%)であった。

4. チャノコカクモンハマキ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、1㎡当たり巻葉数1.2枚(0.1枚)、発生圃場率25.0%(14.2%)であった。

イ フェロモントラップによる誘殺量(東彼杵茶業支場調査)は平年並であった(図)。

(3) 防除上注意すべき事項

雌成虫の発蛾最盛期から7~10日後に薬剤散布すると効果が高い。

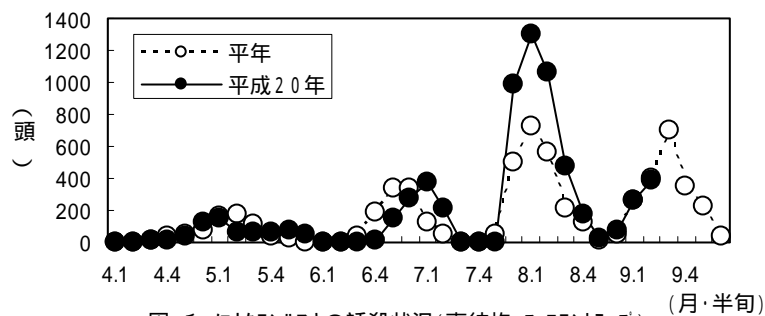


図 チャノコカクモンハマキの誘殺状況(東彼杵:フェロモントラップ)  
平年は平成15年~19年の平均値

5. チャノホソガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、1㎡当たり巻葉数0.8枚(1.1枚)、発生圃場率35.0%(24.4%)であった。

イ フェロモントラップによる誘殺量(東彼杵茶業支場調査)は平年並であった。(図)。

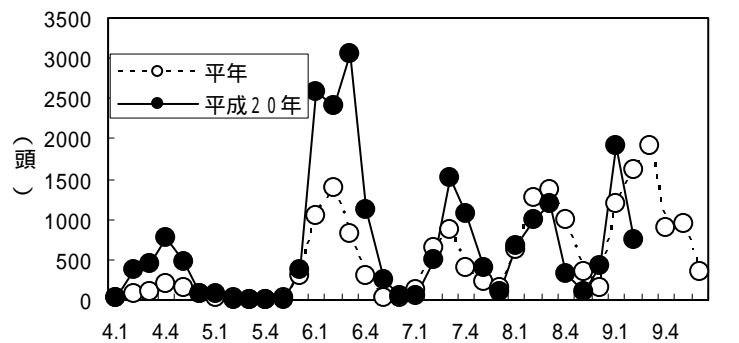


図 チャノホソガの誘殺状況(東彼杵:フェロモントラップ)  
平年値は平成15年~19年の平均値

6. チャノミドリヒメヨコバイ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、たたき落とし虫数(A4版トレイに5回×4カ所)は1.3頭(0.7頭)、発生圃場率は55.0%(23.8%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

幼虫は葉裏にいることが多いので、葉裏にも十分薬剤がかかるよう散布する。

7. クワシロカイガラムシ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、寄生株率は2.6%(5.1%)、発生圃場率は25.0%(28.1%)であった。

【参考】

気象 (平成20年9月12日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

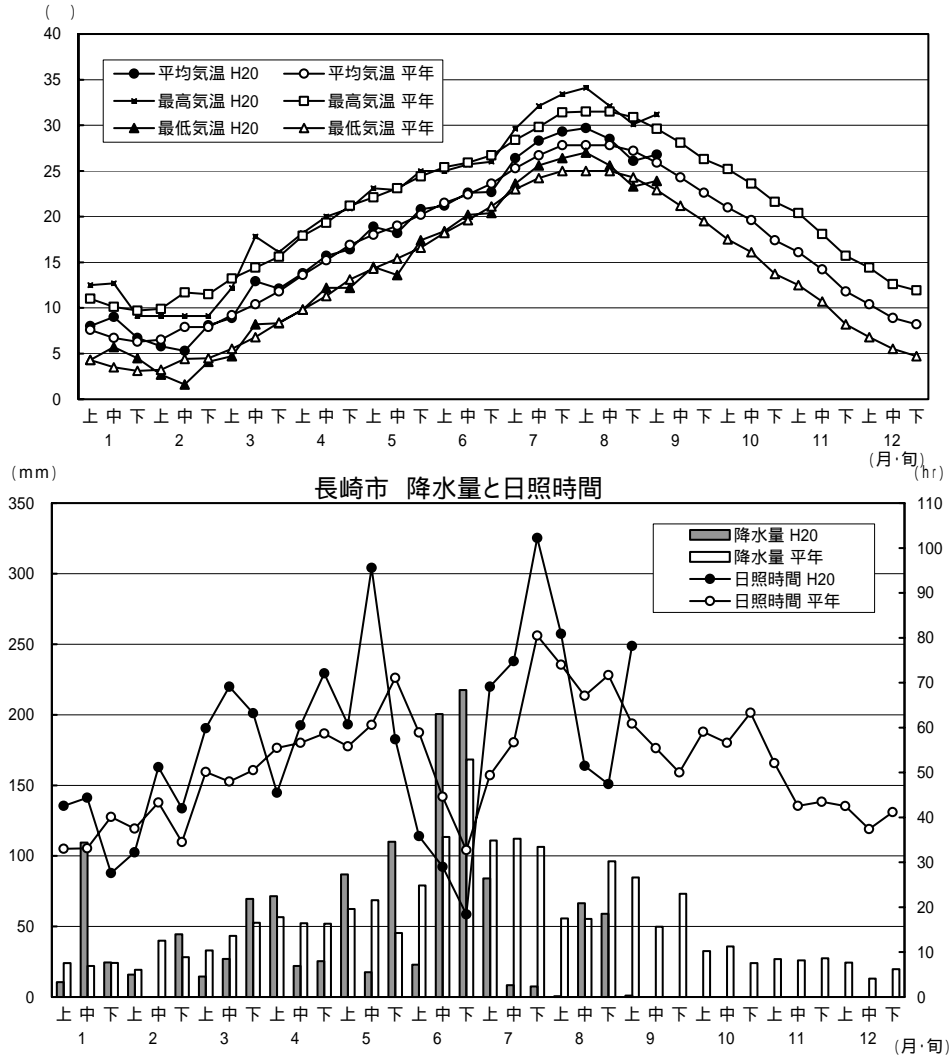
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	10	30	60
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

予報対象地域：九州北部地域

平成20年の気象経過 (長崎海洋気象台)

長崎市 気温



「農薬使用基準の遵守について」  
 農薬を使用する際には、必ず農薬のラベルをよく読み、使用基準（適用作物、適用病害虫、使用濃度、使用量、使用時期、総使用回数）及び使用上の注意事項を守って、適正に使いましょう。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

